

東北ハイテク研究会セミナー

能登の農林業の復興を目指して！！

－ 先端技術で復興を加速する －



収穫直前の初冬直播きを実証試験として栽培播種した水田の様子(2018年初冬に播種し2019年秋に収穫)。実証試験を実施した全地点で成熟まで到達し、牽播きと同程度の収量水準を示しており、実用化に目途。

* 写真は、上左から時事通信ニュース 2024年01月29日配信、農研機構、岩手大学、齋藤雅典氏提供

セミナー開催のねらい

令和6年1月1日16時10分 石川県能登地方でマグニチュード(M)7.6の大規模地震が発生しました。お正月の家族団らんのおとそ気分が抜けない中での地震と津波と火災で、多くの方々が逃げる間もなく被災しました。家族や家を失い、道路やライフラインは寸断し、復興の道筋が見えない中での避難生活が今も続いています。さらに追い打ちをかけるように、9月21日には線状降水帯が発生し、記録的な大雨による洪水・土砂災害が能登地方を襲いました。

相次ぐ災害に襲われる中、安心できる生活を取り戻すことが急務ですが、それと並行して多くの人々が従事し地域の重要な産業である農林水産業の迅速な復興が求められています。農林水産業の復興は、生業(なりわい)の復興にとどまらず、未来世代への生産基盤・豊かな自然環境の復元等、未来志向での取り組みが大切です。

東北ハイテク研究会は、これまで東北地域の農林業・食に関わる産業の振興を図るため、産学連携のプラットフォームとなるべく活動してまいりました。また、会員の中には東日本大震災からの復興に尽力した方々が多く、その後も復興支援に関わる活動を展開しております。今回のセミナーでは、東日本大震災で農林業の復興に大きな効果を発揮しました乾田直播技術、最近大きな注目を集めている初冬直播技術、菌根菌栽培技術を取り上げ、能登半島の農林業の一

日も早い復興に貢献できることを目指して、プログラムを用意しました。農家、関係者の皆様に参加していただき、能登農業の復興について一緒に考えることができればこれに勝る幸せはございません。皆様の参加をお待ちしております。

開催日等

日時：令和6年10月28日（月）セミナー、29日（火）被災地視察調査
開催場所：いこいの村能登半島
（〒925-0165 石川県羽咋郡志賀町 志賀の郷温泉）
開催方法：ハイブリッド方式
参集範囲：対面参加：奥能登・中能登管内の担い手水稻農家・法人など20人前後
石川県行政、農業改良普及指導員、農協関係者等
Online参加：石川県内の担い手農家ならびに全国からの参加希望者
参加費：無料
主催：東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
石川県
実践総合農学会

セミナー（10月28日）の内容

- 司会進行・セミナー趣旨説明：
門間 敏幸（東北ハイテク研究会・東京農業大学名誉教授） 13:30—13:35
 - あいさつ：江藤 秀明 氏（石川県農林水産部次長） 13:35—13:40
 - 講演
乾田直播・水田輪作で大規模農業の展開を支える
—東日本大震災からの復興事例から見たこと—
講師 大谷 隆二 氏（東北大学大学院農学研究科教授） 13:40—14:25
【意見交換】 14:25—14:35
休憩 10分
 - 課題解決に向けた技術紹介 「水稻初冬直播」、「菌根菌活用栽培」
 - 1 中山間地域・小区画水田でも活用できる低コスト初冬直播き技術
講師 下野 裕之 氏（岩手大学農学部教授） 14:45—15:05
【質疑】 15:05—15:15
 - 2 菌根菌を使った栽培技術
講師 齋藤 雅典（東北ハイテク研究会・東北大学名誉教授） 15:20—15:40
【質疑】 15:40—15:50
【意見交換】 15:50—16:30
- 終了

申込方法等

次ページのチラシのQRコードからお申し込みください。
後日、石川県からミーティングIDとパスコードがメールで送られます。
Online参加者は100名に限定されますので、早めにお申し込みください。

参加費
無料

能登の農業 復興勉強会

ともに考える

ともに学び

担い手農家の経営課題解決に向けて

10/28^月

時間 13:30～16:30

会場 いこいの村 能登半島
オンライン配信

現地（能登）
開催の様子を
ライブ配信します

講演

13:40～14:35



乾田直播・水田輪作で
大規模農業の展開を支える
～東日本大震災の復興事例から見たこと～

講師：大谷隆二氏

東北大学院農学研究科
次世代食産業創造センター 教授

ファシリテーター

門間 敏幸氏

東京農業大学 名誉教授
実践総合農学会 会長



開催趣旨

令和6年能登半島地震により能登地域では労働力不足など担い手が抱える問題は深刻化しています。そこで能登地域の担い手農家が集まり、東日本大震災からの復興事例や、水稲の省力化技術をともに学び、経営課題解決、創造的復興の足掛かりとすべく開催します。

募集範囲

石川県内の農業者・法人
東北ハイテク研究会 会員
実践総合農学会 会員

<申込〆切>

10/18(金)

オンライン配信の参加申込方法



左記QRコードから
お申込みください。

定員は100名です。
定員に達し次第、
締め切らせて頂きます。

技術紹介①

14:45～15:15

中山間地域・小区画水田でも活用できる
低コスト初冬直播技術

講師：下野裕之氏

岩手大学農学部 教授
岩手大学次世代アグリノベーション研究センター長

技術紹介②

15:20～15:50

菌根菌を使った栽培技術

講師：齋藤雅典氏

東北大学 名誉教授
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
産学連携コーディネーター

意見交換

15:50～16:30

【主催】

石川県 農林水産部 生産振興課（担当：企画普及グループ） TEL 076-225-1622

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
実践総合農学会

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局（藤井）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926 FAX：019-641-7794

E-mail：tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp（ご使用時は、@を1ヶ削除願います）

* 本講演会は、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。